

(5)

以下は、クジャクという鳥について書かれた文章である。

- 1 クジャクの雄は上尾筒を持ち上げて、雌の周りをゆっくり回りながら、時々広げた羽を揺さぶり、羽毛のこすれる音を出して求愛する。宝石をちりばめたような飾り羽と、きらびやかな目玉模様が広がっている。雌はその目玉模様の数の多さと、魅力的な鳴き声で雄を選ぶという。毎年換羽するたびに扇状に広げる羽は大きくなるので、目玉模様の数はそれだけ捕食者や寄生虫の攻撃を切り抜けてきたことを示す。目玉模様がが多いということは、その鳥が生き延びてきた証である。

(浅間茂「虫や鳥が見ている世界—紫外線写真が明かす生存戦略」中央公論新社による)

- (注1) 雄：男。動物の性別を表す際に使われる
(注2) 上尾筒：鳥の尾羽の付け根の上面をおおっている羽
(注3) 雌：女。動物の性別を表す際に使われる
(注4) 換羽する：鳥の羽毛が抜け変わる事
(注5) 捕食者：他の動物をえさとして食べる動物
(注6) 寄生虫：動物の体表や体内から栄養をとって生活する生物

- 1 クジャクの目玉模様について、内容に合うのはどれか。
- 1 羽の音を出すためには目玉模様が必要である。
 - 2 羽毛をこすることで目玉模様は大きくなっていく。
 - 3 いい声で鳴く雄は目玉模様もきれいである。
 - 4 生命力が強い雄ほど羽に目玉模様がが多い。

内容理解(短文) Comprehension (Short passages)

次の(1)から(5)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

- 1 「許し」は、相手のためではなく、自分のためにするものです。
 なぜなら、人は誰かを許せないとき、牢屋(注)の番人のように、ずっとその人のことを考え続けなくてはならなくなるからです。
 その間ずっと、他に使える時間とエネルギーを、その人のために使っていることになります。
- 5 人を許すことで、余分なエネルギーを使わなくてもすむようになります。
 その分だけ、本当に大切なことに意識を集中することができるでしょう。
 勇気をもって、今日、誰かを許してあげてください。

(本田健「ピンチをチャンスに変える51の質問」大和書房による)

(注) 牢屋の番人：罪人が逃げないようにずっと見ている人

1 筆者が、誰かを許してあげてくださいと言っているのはなぜか。

- 1 人を許すことで、自分も許してもらえるようになるから
- 2 誰かを許せないと思っている限り、その人の側に居続けなければならないから
- 3 人を許すことで、余計な時間や労力を使うことがなくなるから
- 4 誰かを許せない間は、本当に大事なことに向き合うことが一切できないから

(2)

1 大きい変化の時期にあっても、周りのペースに巻き込まれず、平常心でいられる人がいます。こういう人たちに共通する特徴は、新しい環境へのイメージトレーニングができること。よくたとえられるのが「お化け屋敷」です。

5 ご存知の通り、お化け屋敷は、どこからお化けが出てくるかわからないからこわい。でも逆に、ここから出ますよ、というのを知っていれば、こわさがあっても、だいぶましになります。

ですから、新しい環境に入るときも、事前にどういうことが起こるかイメージして、心の準備をしておけば、そこでかかるストレスが減らせます。

(プレジデントオンライン<<https://president.jp/articles/-/44192?page=3>> 2021年3月22日による)

(注1) ペース：スピード

(注2) お化け屋敷：遊園地などにある、客を怖がらせるために作られた、お化けが出そうな建物

1 この文章で筆者が述べていることは何か。

- 1 そこで何が起きるか予測しておく、新しい環境でも落ち着いて行動できる。
- 2 準備をきちんとしていれば、自分に合った環境を作り上げることができる。
- 3 イメージトレーニングをすれば、新しい環境へのこわさは全くなくなる。
- 4 環境が変わるときは、ストレスを感じるので色々想像しすぎないほうがいい。

(3)

- 1 私が気になるのは「地球に優しく」という言葉です。とてもすばらしい言葉に聞こえますね。地球に優しくします。あまりごみは出さないようにしますとか、環境問題をよく考えますという意味で言っているということはわかります。言っている人の気持ちはわかりますが、地球に優しくと言うのは、上の世界にいると思うから言えることです。そうではなく、地球やその中に暮らす生きものたちに優しくしてもらって、お互い優しくし合おうね。そうしないと、私たち人間は生きていけないねというのが事実でしょう。人間は生きもの、自然の中の一部なのでありますから。

(中村桂子「知の発見「なぜ」を感じる力」朝日出版社による)

1 筆者はなぜ「地球に優しく」という言葉が気になるのか。

- 1 人間の優しさを表すすばらしい言葉だから
- 2 人間が上からものを言っているようだから
- 3 人間が言葉の通りにしていないから
- 4 人間にも優しくしてほしいから

(4)

- 1 「良薬は口に苦し」ということわざがある。よく効く薬ほど苦くて飲みにくいことから、「よい忠告は、聞くのは辛い^{こく}が、ためになる」という意味で使われる。昔の薬は苦かった。だから、このことわざは小さな子どもでもすんなりと理解できたものである。しかし、最近は錠剤やカプセルにして苦みを少なくし、飲みやすくなっている薬が多い。今の若者は、このことわざを聞いても何のことを言っているのかわからない人も多いだろう。ことわざは世代から世代へと言い伝えられてきたものであるが、意味が伝わらないのであれば、その価値はない。ことわざも時代にあわせて変えていくことはできないものだろうか。

1 この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 薬は子どもでも飲めるように、飲みやすい形にするべきだ。
- 2 若者にことわざを理解させる機会をもっと増やしたほうがよい。
- 3 若者は年上からのアドバイスを、自分のためだと素直^{すなお}に聞くべきだ。
- 4 時代とともにことわざも変われば、若い世代にも意味が伝わるだろう。